PAT-NO:

JP02001350584A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001350584 A

TITLE:

MOUSE PAD

PUBN-DATE:

December 21, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MORITA, SUNAO

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

N/A

APPL-NO:

SONY CORP

JP2000174207

APPL-DATE:

June 6, 2000

INT-CL (IPC): G06F003/033, G06K017/00 , G06K019/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To hold an IC card by preventing the operation of a mouse from being disturbed by applying a mouse pad for the operation of a mouse in which the function of, for example, a reader writer is incorporated.

SOLUTION: This mouse pad has a recessed part where the IC card 4 is held, on its top surface side.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO

Dec 21,2001

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出頭公園番号

特開2001-350584 (P2001-350584A)

(43)公問日 平成13年12月21日(2001.12.21)

(51) Int.Cl. ⁷	設別記号		F I	FΙ		テーマコード(参考)	
G06F	3/033	3 4 0	G 0 6 F	3/033	340C	5 B O 3 5	
G06K	17/00		G 0 6 K	17/00	F	5B058	
					L	5B087	
	19/00			19/00	Y		

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 4 頁)

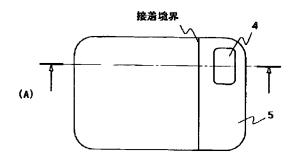
(21)出頭番号	特頭2000-174207(P2000-174207)	(71)出願人 000002185
(00) III ### ₩	W-back a H a H (0000 a a)	ソニー株式会社
(22) 出類日	平成12年6月6日(2000.6.6)	東京都品川区北品川6丁目7番35号
		(72)発明者 泰田 直
		東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
		一株式会社内
		(74)代理人 100102185
		弁理士 多田 気質
		Fターム(参考) 5B035 AA13 BA03 BB09 CA23
		5B058 CA15 KA33
		5B087 BB18 BC13

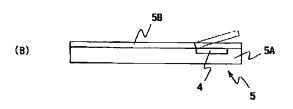
(54) 【発明の名称】 マウスパッド

(57)【要約】

【課題】 本発明は、マウスパッドに関し、例えばリーダライタの機能を組み込んだマウスを操作するマウスパッドに適用して、マウスの操作を妨げないようにしてICカードを保持することができるようにする。

【解決手段】 本発明は、I Cカード4を保持する凹部を表面側に形成する。





【特許請求の範囲】

【請求項1】 弾性を有する樹脂材料による板材であっ て、

1

表面にICカードを保持する凹部を有することを特徴と するマウスパッド。

【請求項2】前記凹部を他の部位と共に前記表面側より 覆う透明シート材を有することを特徴とする請求項 1 に 記載のマウスパッド。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、マウスパッドに関 し、例えばリーダライタの機能を組み込んだマウスを操 作するマウスパッドに適用することができる。本発明 は、ICカードを保持する凹部を表面側に形成すること により、例えばリーダライタの機能を組み込んだマウス の操作を妨げないようにしてICカードを保持すること ができるようにする。

[0002]

【従来の技術】従来、パーソナルコンピュータにおいて は、例えばマウスパッド上におけるマウスの操作により 20 画面上に表示した各種メニュー等の選択して所望の処理 を実行するようになされている。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】ところでこのようなパ ーソナルコンピュータによる各種処理においては、パス ワード等の個人情報の入力が必要になる場合がある。こ れに対して近年、個人情報を記録して簡易に提示する手 段としてICカードが種々の場所で利用されるようにな されている。

【0004】これによりこの種のパーソナルコンピュー 30 タにおける個人情報等の入力においても、ICカードを 利用することにより作業を簡略化し、さらにはセキュリ ティーを向上することが考えられる。このようにすれ ば、単にパスワードの入力だけでなく、ICカードにて 利用した電子マネーの確認等についても、パーソナルコ ンピュータを用いて家庭で実行可能とすることができ る。

【0005】この場合に、非接触型 I Cカードにこの種 の個人情報を記録すると共に、リーダライタの機能をマ ウスに組み込みむことが考えられる。このようにすれ ば、マウスを操作して各種処理を実行している過程で、 パーソナルコンピュータへの個人情報の入力が必要にな ると、手に把持したマウスをICカード上に移動させて 個人情報を読み込ませ、これによりマウスによる一連の 操作を中断させることなくICカードより個人情報を入 力することができる。

【0006】ところがICカードにおいては、薄型に作 成されてはいるものの、例えばマウスパッド、テーブル 等の上に載置してマウスをスライドさせた場合には、マ ウスの移動により引っ掛かってICカードが弾かれたり 50 ループアンテナ、このループアンテナを駆動し、またル

し、これによりマウスのスムーズな操作を妨げる問題が ある。

【0007】本発明は以上の点を考慮してなされたもの で、例えばリーダライタの機能を組み込んだマウスの操 作を妨げないようにしてICカードを保持することがで きるマウスパッドを提案しようとするものである。

[0008]

【課題を解決するための手段】かかる課題を解決するた め本発明においては、弾性を有する樹脂材料による板材 10 であって、表面に I Cカードを保持する凹部を有するよ うにする。

【0009】本発明によれば、表面にICカードを保持 する凹部を有することにより、この凹部にICカードを 配置しておくことにより、必要に応じてこのICカード の上にマウスをスライドさせるようにした場合に、マウ スが引っ掛かってICカードを弾いたりすることを防止 でき、これによりマウスのスムーズな操作の妨げとなら ないように、ICカードを保持することができる。

[0010]

【発明の実施の形態】以下、適宜図面を参照しながら本 発明の実施の形態を詳述する。

【0011】図2は、本発明の実施の形態に係る情報処 理システムを示すブロック図である。この情報処理シス テム1においては、マウス2の操作によりパーソナルコ ンピュータ (PC) 3を起動して種々の処理を実行でき るようになされ、このマウス2が、通常のマウスの機能 に加えて、非接触型ICカード4のリーダライタの機能 を併せ持つように構成される。

【0012】ここでICカード4は、薄板の配線基板に 集積回路を実装した後、所定の保護シートにより密閉し て全体がカード形状に作成される。ICカード4は、こ の配線基板の配線パターンによりループアンテナが形成 され、このループアンテナに誘起される高周波信号によ り動作する。これにより I Cカード4は、通信対象に近 接して保持され、この通信対象より高周波信号が送出さ れると、動作を開始する。さらにICカード4は、この ようにして動作を開始すると、通信対象から送出された データを受信し、この受信したデータに応じて、内蔵の メモリに保持したデータを更新し、またメモリに保持し 40 たデータを通信対象に送信する。これによりICカード 4は、通信対象からの要求に応じてメモリに保持したパ スワード、電子マネーのデータ等を通信対象に送出する ようになされている。

【0013】マウス2は、片手により把持できる大きさ により全体が形成され、これにより必要に応じてマウス パッド5等の上でスライドさせてパーソナルコンピュー タ3の画面に表示された各種メニューを操作できるよう になされている。 またマウス 2は、 このような座標入力 の構成に加えて、ICカード4に高周波信号を供給する 4

ープアンテナを介して受信した信号を処理する信号処理 回路を有し、これらの構成によりICカード4の上に配 置してICカード4を起動し、さらに相互認証等の一連 の処理を実行して各種のデータを受信する。

【0014】パーソナルコンピュータ3は、マウス2より入力される各種座標データ等により、表示画面上におけるカーソルを移動させ、さらにはマウス2におけるクリックに応じて表示画面の切り換え等を実行する。これらの処理において、パスワードの入力が必要になると、ユーザーにパスワードの入力を促すメニュー画面を表示した後、マウス2より入力されるパスワードを取り込んで個人認証等の処理を実行する。また電子マネーに関するアプリケーションプログラムを実行している場合等において、ICカード4に記録された電子マネー等のデタが必要になると、ユーザーに対応するデータの入力を保すメニューを表示した後、マウス2より入力される電子マネー等のデータを取り込んで一連の処理を実行する。とにより、マウス2より入りされる電子マネー等のデータを取り込んで一連の処理を実行する。

【0017】すなわち図1に平面図及び断面図を示すように、マウスパッド5は、弾性を有する板材であるベース材5Aの上に、透明シート材5Bを配置して構成される。このうちベース材5Aは、例えば発泡ウレタン等により形成され、右上側の隅部にICカード4を保持する凹部が形成されるようになされている。これによりマウスパッド5は、この凹部にICカード4を保持できるようになされている。

【0018】マウスパッド5は、この凹部の深さがほぼ ICカード4の板厚に設定され、これによりICカード 40 4を配置した際に、このICカード4の部分が表面側に 飛び出さないようになされ、これによりマウス2のスム ーズな操作を妨げないようになされている。

【0019】さらにマウスパッド5は、この凹部の肉厚が所定厚さ以上となるように設定され、これによりICカード4を保持した状態で例えばこのマウスパッド5を鉄製の机の上に載置し、マウス2によりICカード4のデータを読み出す場合でも、の鉄製の机の影響をマウス2に内蔵のリーダライタに影響を与えないようになされている。

【0020】透明シート村5Bは、このようにICカード4を保持する側との境界である図1(A)に示す接着境界を境にして、ICカード4を保持しない側がベース材5Aに接着されるのに対し、ICカード4を保持する側においては、単にベース材5Aに重ね合わせて保持される。これによりマウスパッド5は、図1(B)において想像線により示すよう、必要に応じてシート材5Bを持ち上げてベース材5Aの凹部にICカード4を配置した後、全体をシート材5Bに覆うことができるようにな

【0021】シート材5B、マウス2に適当な摩擦を発生することができるように、またこのようにベース材5Aの凹部に配置したICカード4を目視することができるように構成され、これによりマウス2をみ動させることができるようになされている。このときマウスパッド5においては、シート材5BがICカード4と共に全体を覆うことにより、マウス2の操作によりICカード4の表面に作成された各種印刷を保護することができるようになされている。

【0022】以上の構成によれば、ICカードを保持する凹部を表面側に形成することにより、例えばリーグライタの機能を組み込んだマウスの操作を妨げないようにしてICカードを保持することができる。これにより単にマウスをスライドさせてICカードを各種データの記憶装置として有効に利用することができ、この種のシステムの使い勝手を一段と向上することができる。

【0023】また全体を透明シート材で覆うことにより、ICカードに形成された各種の印刷を保護すること ができ、さらには一段とスムーズにマウスを操作することができる。

【0024】なお上述の実施の形態においては、透明シート材により全体を覆う場合について述べたが、本発明はこれに限らず、実用上十分な場合には、透明シート材を省略してもよい。

【0025】また上述の実施の形態においては、リーダライタの機能をマウス側に設ける場合について述べたが、本発明はこれに限らず、マウスパッド側に設ける場合にも広く適用することができる。なおこの場合、マウスに組み込んだアンテナ、信号処理回路、パーソナルコンピュータとの間のインターフェースをマウスパッド側に組み込むことになり、ICカードを保持する凹部にこのうちの少なくともループアンテナを配置することになる。

[0026]

【発明の効果】上述のように本発明によれば、ICカードを保持する凹部を表面側に形成することにより、マウスの操作を妨げないようにしてICカードを保持することができる。

50 【図面の簡単な説明】

5

【図1】本発明の実施の形態にかかるマウスパッドを示す平面図及び断面図である。

【図2】図1のマウスパッドを用いた情報処理システムを示すブロック図である。

【符号の説明】

1……情報処理システム、2……マウス、3……パーソナルコンピュータ、4……ICカード、5……マウスパッド

【図1】

